

## バイオマス活用アドバイザー プロフィールシート

	<p><b>【名前】</b></p> <p>福田 史恵</p>
	<p><b>【現職（所属）】</b></p> <p>株式会社 TRES 代表取締役</p>
<p><b>【略歴】</b></p> <p>平成 14 年 3 月 九州大学大学院 農学研究科 後期博士課程修了              平成 14 年 4 月 株式会社東洋新薬 入社              平成 16 年 6 月 有限会社 TRES 入社              平成 20 年 8 月 株式会社 TRES 取締役就任              平成 20 年 2 月 バイオマスタウンアドバイザー登録              平成 20 年 10 月 鹿児島大学農学部客員講師就任（リサイクルシステム学ほか）              平成 21 年 1 月 K-RIP フェロー就任（九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ）              平成 22 年 1 月 株式会社 TRES 代表取締役就任</p>	
<p><b>【得意分野】</b></p> <p>メタン発酵、木質バイオマス、バイオ燃料、LCA（ライフサイクルアセスメント）、国内クレジット制度、林産化学、ポリフェノール（タンニンほか）、産学官コンソーシアム研究開発（バイオマス農薬・肥料・健康食品ほか）</p>	
<p><b>【バイオマス利活用に関する取組・一言コメント】</b></p> <p>平成 16 年に(株)TRES へ入社以来、バイオマス資源調査・利活用事業化提案、及びポリフェノールの一種であるタンニンを利用する産学官コンソーシアム研究開発にも取り組んできました。大学時代や前職（製薬会社）では、木のポリフェノールを利用する研究をしていたこともあり、農林水産業における未利用資源を利用した新規産業を創出し、農山漁村を元気付けたいという思いがありました。</p> <p>平成 20 年にバイオマスタウンアドバイザー登録を受け、主に九州地域のバイオマスタウン構想・バイオマス活用推進計画策定の支援（※）や普及啓発に取り組んでいます。平成 20 年度地域に根ざした環境バイオマスに関する意識改革 九州地域事業においては、九州地域全体の産学官及び一般市民へ普及啓発、7 県 35 市町村を対象としたバイオマス実地調査・利活用提案を実施、平成 21 年度地域における環境バイオマス総合対策調査 九州地域調査事業においては、九州 7 県でバイオ燃料についての意向調査説明会、7 県 25 市町村のバイオマス実地調査・利活用提案を実施、平成 22 年度農産漁村 6 次産業化対策事業に係るバイオマス資源活用促進事業のうちバイオマス資源利用可能性調査においては、九州 7 県 7 市町村で第 2 世代バイオ燃料の生産可能性調査を実施し、九州地域の市町村のバイオマスタウン構想・バイオマス活用推進計画策定を推進して参りました。（※平成 24 年 4 月現在まで、バイオマスタウン構想・バイオマス活用推進計画策定助勢業務実績：鹿児島県錦江町、熊本県宇城市・津奈木町、大分県杵築市、長崎県大村市、福岡県糸島市）</p>	